



社会福祉連携推進法人あたらしい保育イニシアチブ

次世代に「選ばれる」保育園を創造するアライアンス

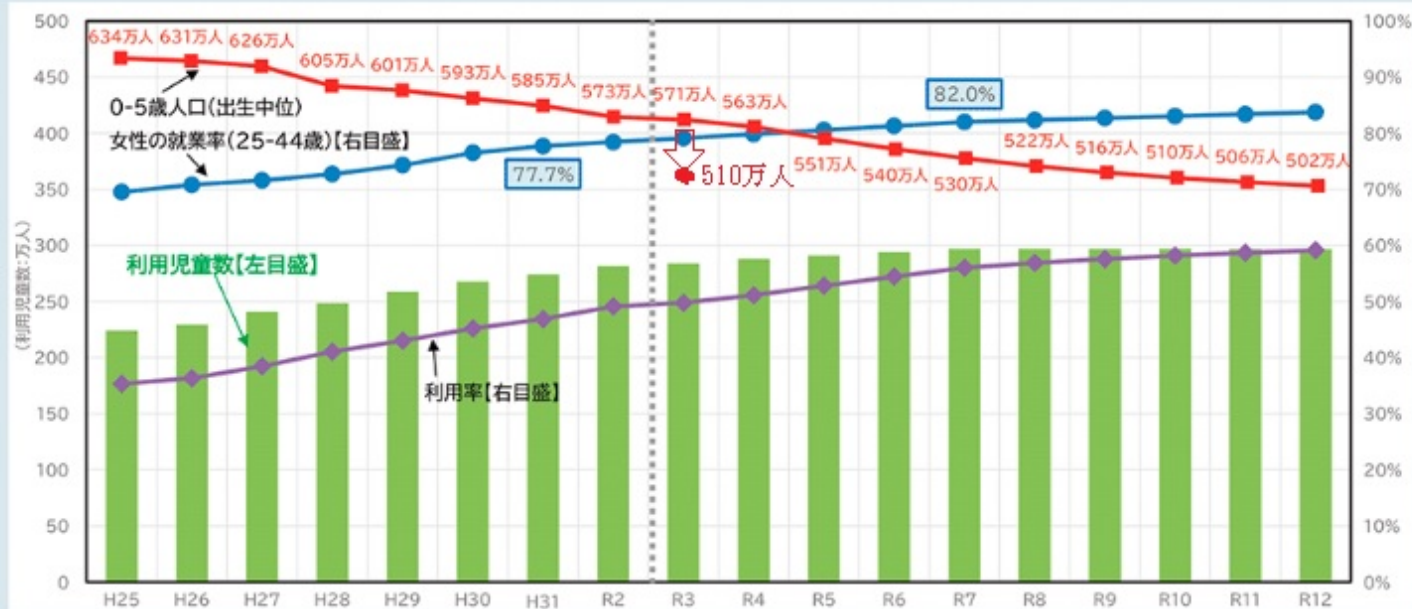


プレゼンター

社会福祉連携推進法人  
あたらしい保育イニシアチブ理事

齋藤 祐善

図表 2-1-6 保育所の利用児童数の今後の見込み



資料：厚生労働省子ども家庭局保育課において作成。

(注) 上図の利用児童数は、0～5歳人口を基に、女性の就業率（令和7年：82%、2040年：87.2%）及びそれに伴う保育所等の利用率の上昇を踏まえて機械的に算定したものである。

0～5歳人口については、令和2年までは総務省統計局「人口推計」（平成27（2015）年国勢調査を基準とする推計値）、令和3年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2018年推計）」の出生中位・死亡中位結果による（N年の人口は「N-1」年10月1日時点）。

女性の就業率については、令和7年に82%との目標（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）に対応するとともに、独立行政法人労働政策研究・研修機構「労働力需給推計」（平成31年3月29日、経済成長と労働参加が進むケース）において、2040年で87.2%まで伸びると推計されていることを踏まえて設定。

保育所等の利用率については、女性の就業率の上昇に対応するものとして算定。

加速度的な少子化が進んでいます！  
保育所の利用率が2025年にピークを迎え、保育所の利用率が下がります



深刻な少子化が進む過疎地域では  
就学前施設（幼稚園・保育園）が  
存続の危機に・・・



都市部でも利便性や保育環境が  
悪い園は、定員割れから経営難  
になることが予見される

統廃合を含む、  
施設の再編が不可欠に！

# ソリューションとしての社会福祉連携推進法人

2024年の最新統計によると、出生数は70万人を割ると見込まれます。  
10年間で約25%減少、保育業界はこの流れの中どう生き残り、質を確保するか。

## 保育を取り巻く環境変化

- 深刻な少子化
- 保育人材不足
- 縦割り、過渡的な制度
- 需給地域間格差拡大
- 求められるサービスの多様化
- 円安進行による物価高



## 事業者が受ける影響

- 全国的に定員割れ
- 人材確保コスト上昇
- 新制度移行へのリスク
- 事業運営危機
- ニーズへの対応
- 運営コストの増加

# 法人格、運営、供給の垣根を越えて 「あたらしい保育」創造へ

保育園、こども園、幼稚園各施設を  
運営する社員法人（プレイヤー）



システム、サービス、商品、施設など  
就学前教育に携わるサプライヤーの  
社員法人とパートナー



保育DXを始めとした、ICTシステム導入による、省力化、コスト削減、顧客満足度向上、保育の質確保



深刻な少子化が進む地域においても、地域から「選ばれる」保育施設づくりと多様なニーズに応える多機能化



良質な研修と法人の垣根を越えた交流による、保育の質向上や保育士のモチベーションアップと離職対策



連携推進法人のスケールメリットを活かした物品の調達（低コストやオリジナリティ）による経営の効率化と差別化



「あたらしい」教育プログラムの提供により、就学前飲みに捉われない次世代を担う人材育成



自法人の経営方針が、今後の地域ニーズや国の方針と乖離していないか、全国の多様なネットワーク交流により羅針盤となる

# あたらしい保育イニシアチブが求める 社員法とパートナー



## 価値観の共有

競争よりも「共生」、就学施設から「地域のこどもの居場所」へ、あたらしい保育イニシアチブの目指す保育園の在り方への共感が重要です。



## コンプライアンス

社会福祉連携推進法人は非営利法人です。その根底には公益性があります。だからこそ、フェアで透明性のある取引を求めます。



## こども「まんなか」

私たちのミッションは事業を通して、こどもたちの笑顔をつくり、守っていくことです。一緒に同じゴールを目指しましょう！



## 将来を見据えた取組

連携推進法人の取組は制度も含め始まったばかりです。従来の業界団体とは違った、アプローチは試行錯誤の繰り返しです。この芽を一緒に育ててください。



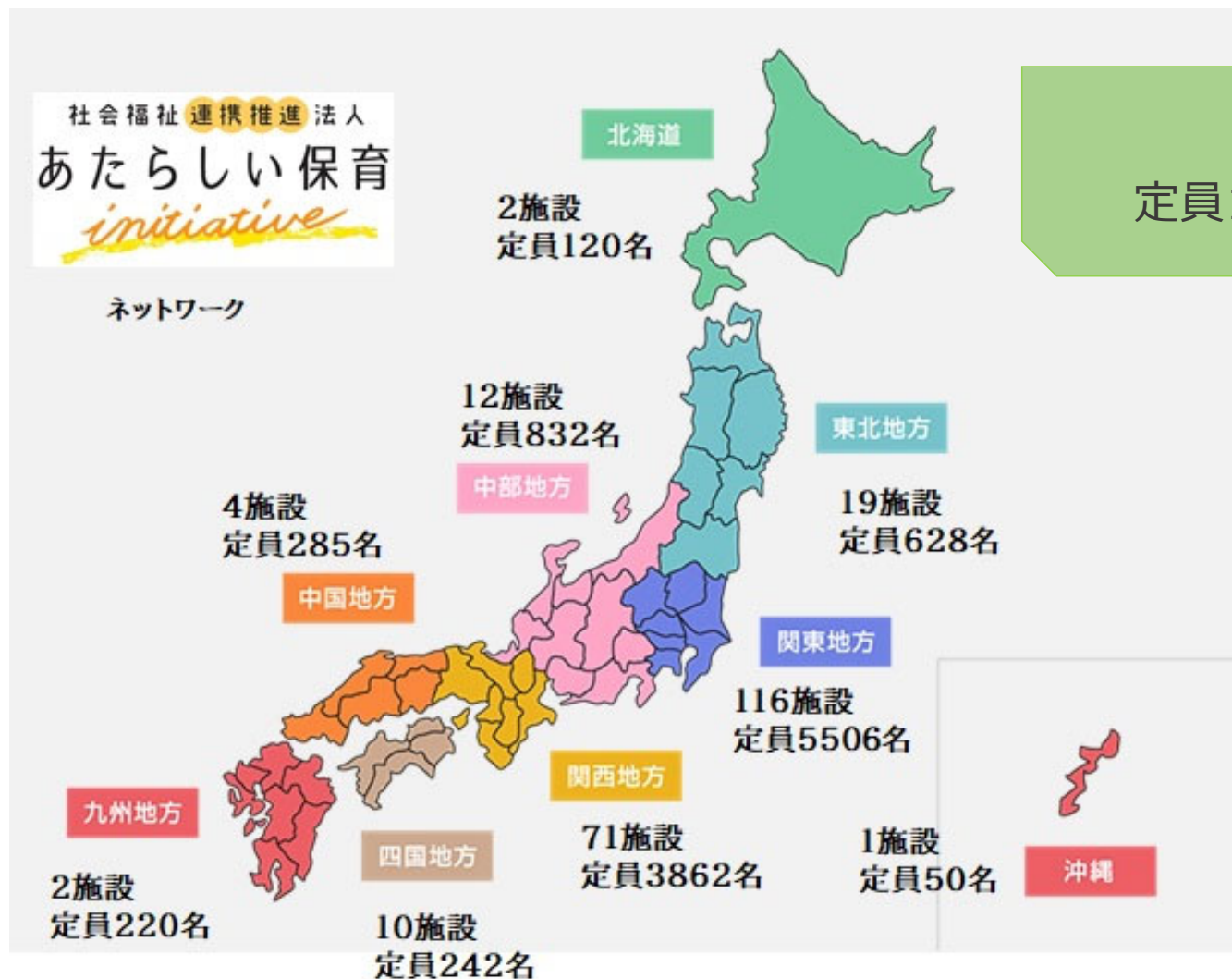
## 一緒に分かち合える

お互い同士が切磋琢磨して、手を取り合い協力しなければ「絆」は生まれません。メンバーが自法人の事業として、一緒に事業を進めましょう。

# さあ一緒に！つくろう「あたらしい保育」



# 法人の垣根を超え、全国に広がるあたらしい保育アライアンス



**239施設、**  
定員11971人、職員数4965名

**5 法人から、31 法人** ※1

北は北海道から、南は沖縄までの地域において  
社会福祉法人、学校法人、株式会社、認定NPO  
など多様な法人格が運営する  
認可園、こども園、小規模、企業主導、療育、  
病児ほか  
上場企業、自治体採用サプライヤーも加わり  
属性や大小に捉われることなく、今までにない  
法人として皆で「あたらしい保育」の  
イニシアチブを目指します。

社会福祉 連携推進 法人  
あたらしい保育  
*initiative*

※1 申請手続き中の法人も含む

# 参画する社員法人、みんなでつくる 「あたらしい保育イニシアチブ」委員会体制

2022年11月、5法人でキックオフした社会福祉連携法人あたらしい保育イニシアチブ、以来、法人格や施設の垣根を越えて現在、社員法人31（入会申請中含む）と日本で最大規模の社員数を数える連携推進法人になりました。そして「選ばれる保育園」づくりに向けて、経営支援・人材確保・物資供給の3事業分野それぞれに、事業を企画、推進する各委員会活動がスタートしました。それぞれの事業領域において、社員各々が自法人だとの認識をもって、パートナー企業の知恵と力を貸りながら、連携推進法人のスケールメリットを活かした事業を構築して参ります。

## 経営支援委員会

### 退職金基金や多機能化

- ▶ 退職金基金の開発と普及
- ▶ あたらしい保育サービス事業の研究と開発（療育・病児・一時等、多様な保育）
- ▶ 各社員法人経営課題の調査、情報の共有
- ▶ あたらしい保育に関する国内・海外研修事業
- ▶ 経営支援サービスの開発・提供
- ▶ 補助金・助成金申請事例研究・共有
- ▶ M & A・事業継承の情報共有

## 人材確保委員会

### 研修、採用、離職対策

- ▶ 定例研修事業の企画・運営
- ▶ 各社員法人間における人材交流事業
- ▶ 合同採用フェア企画・運営
- ▶ あたらしい採用事例の研究・情報共有
- ▶ 離職対策事例の研究、対応策の共有
- ▶ 人材評価や福利厚生、労務管理等の調査・研究
- ▶ キャリアアップ研修や処遇改善制度の活用

## 物資供給委員会

### ICT推進、共同購買

- ▶ キャッシュレス決済システムの運用・普及
- ▶ WEBマーケットシステムの開発・運用
- ▶ ボリュームディスカウント物資購入事業の推進
- ▶ 次世代ICT・DXシステム研究・開発・導入支援
- ▶ 園舎建替え・リフォーム事例研究・開発
- ▶ 園バス共同運行事業含むMaaSの研究・開発
- ▶ 園庭・遊戯・玩具の研究開発・調達支援
- ▶ ファイナンスに関するメニューの開発

## 現在取り組んでいる連携推進法人の活動紹介

連携推進法人が従来の業界団体と大きく違うのが、参画法人がその垣根を越えて「一つ」の法人として事業を推進する形態です。もちろん法人形態そのものが初めての試みであり、机上で想定されるようにスムーズに事業を進捗させるには様々なハードルが予見されます。そこでサポーター企業様のお力をお借りして、名実ともに施設運営法人とサービス供給企業が連携して「あたらしい保育」をつくって行くのが本法人の目標です。



## 定例会での研修とメンバー交流

偶数月で開催されるリアル定例会での研修と、その後の懇親会で全国のメンバーと交流を通じて情報交換



## 各委員会での事業企

**画・**  
各事業委員会の事業を地域や法人格を  
超えて事業をつくり、メンバーを中心  
にシステムやサービスを普及



## 現場で役立つオンライン研修

各法人が持つ様々な成功事例や特徴を  
社員法人メンバーで共有することによ  
り「保育の質」の向上へ